

8月10日



### 観光地を盛り上げようと 学生たちが「お・も・て・な・し」

びわこ学院大学短期大学部の学生6人が、観光客へのおもてなしを通じて、滋賀の観光地を盛り上げようと近江米「みずかがみ」のおむすびを、新町通りに面した資料館で、色鮮やかな浴衣を着て観光客にふるまいました。

「みずかがみ」は冷めてもおいしく、おむすびに最適という情報を受け、趣旨に賛同した日野町の農家から提供された5キ口のお米でおむすび100個を握って、猛暑の中元気よく観光客をおもてなししていました。

8月1日



### 児童公園などの電気設備の点検と修繕の奉仕

滋賀県電気工事工業組合近江八幡支部の「啓発キャラバン隊」に、市内4カ所の児童公園の照明灯や外灯の点検や軽微な修繕奉仕を行っていただきました。電気使用安全月間(8月)の啓発の一環として、公園や学校、自治会館など対象を変えながら毎年この時期に実施されています。

炎天下の中でしたが、隊員は公園に到着すると、バケット車や脚立に乗って、手際よく照明灯の清掃や電球の点検などをされていました。

7月28日



### 将来はお医者さんに?! 「Kids 病院体験ツアー」

総合医療センターで開催された「夏休み kids 病院体験ツアー」に児童・生徒が病院探検隊として、手術室やカテテル治療室などの病院見学やオペ体験を行いました。市民と接する機会をもち、体験を通して医療を身近に感じてもらうことを目的に開催しています。

検査室では、心臓血管超音波(エコー)検査の体験を行いました。また、豚の心臓を使ったオペ体験では、実際に手術着を着て、医師から説明を受けながら、触ったり観察したり、手術器具を手に切ったり縫合したり、心臓手術の疑似体験を行いました。

7月31日



### 児童らが豪快に 一文字書道大会

「一文字書道大会」が岡山コミュニティセンターで行われ、地域の小学生などが縦135cm、幅70cmの大きな和紙に、長さ50cm程の太い筆の穂先に墨をたっぷりつけ、自分が好きな漢字一字を力強く書きました。

書道サークルの講師 石田文子さんの指導のもと、床いっばいに敷かれた大きな紙を前に、事前に考えた「天」「輝」「絆」「宝」などの漢字を、足をふんばって一人3枚から5枚書きあげました。



Facebook  
ページは  
こちら

赤こんりポート



的場保典リポーター



### 沙沙貴神社で「夏の杜遊」

7月20日、「夏の杜遊<sup>もりあそび</sup>～灯りをたのしむ～」(沙沙貴社遊実行委員会主催)が沙沙貴神社の協力のもと開催されました。市内在住の絵本作家はやしますみさんを講師に迎えてあんどんづくりが行われ、参加者が思い思いに和紙を折り、染料に浸けて折り染にして色とりどりのあんどんが37個も出来上がりました。

作ったあんどんは、翌日の晩に沙沙貴神社の参道に並びました。安土幼稚園・安土保育園の年長さんが作った紙袋ランタン、境内の回廊では竹灯籠も並び、ライトアップされ、神社という雰囲気にマッチしてたくさんの来場者を喜ばせました。

赤こんりポート

東恵子リポーター



### 戦後74年 絵画や遺品で平和の尊さ想う

近江八幡市では平和啓発事業として、毎年夏に市役所ロビーで平和の尊さを考える展示会を開催しています。今年度は、広島平和記念資料館から被爆者が描いた原爆の絵の複製画を借り受け、キノコ雲や川に浮かぶ兵士を仲間が茶毘に付す絵など30点が展示されました。

母親と観ていた馬淵小学校4年の畑中彩花さんは「恐くて想像できない」と話していました。今年度は近江八幡市遺族会の貴重な遺品、飯ごうや鉄帽、出征兵士の帰還を願い寄せ書きした旗など13点も展示されていました。

赤こんりポート

山田恵美リポーター



### 赤ちゃん先生、八幡商業高校へ行く！！

7月10日、緑色のTシャツを着た小さな先生が八幡商業高等学校を訪ねました。2年生の授業に参加したのは、1歳の赤ちゃん先生4組です！

この日、赤ちゃん先生は、着替えや抱っこひも、ベビーカーでの移動などを八商生とすることに。日常よくある場面をママたちに教えてもらいながら、八商生も奮闘し、気づけば、みんなで見守りあい、励ましあい、助けあい、笑いあいました。

質問タイムでは「(妊娠中に周りに)手伝ってほしかったこと」「結婚しようと思ったきっかけ、結婚してよかったこと」をママたちが回答。「何人も産みたいと思えるほど、幸せなんだなあ、と思いました」などと八商生。赤ちゃんとの生活は大変さもあるけれど、それ以上の幸せがある、ということが伝わる時間でした。

赤こんりポート

馬場利男リポーター



### 沖島にいこう！！ たらい舟・釣り体験

子どもたちが自然と触れ合う中で、仲間で支えあうことの大切さを学ぶことを目的として7月26日、さくら学童クラブの子どもたち29人と保護者、スタッフが沖島まちづくり協議会の協力のもと、沖島へ魚釣りに出かけました。

午前中は、在来魚を外来魚から守る「滋賀県びわこルールキッズ」に参加し、初めて魚釣りをする子などいりましたが、魚が釣れた瞬間は喜びでいっぱいでした。午後からは、たらい舟に挑戦し、舟が小さくて、乗る前に舟が水の中にひっくり返ることも。多くの経験を積む思い出に残る一日でした。